

平成20年度からスタートした『ふるさと納税制度』。皆様からお寄せいただきました寄附は、令和4年度は4,387件、1億510万円、平成20年度からの分を合わせますと3万1,950件、6億6,725万5,271円に上り、多くの事業に活用させていただきました。今回は、令和4年度にご寄附を活用させていただきました事業の一部をご報告いたします。

珠洲市では、これからも『美しい里山里海の自然環境の保全』と『子どもからお年寄りまでが元気で暮らせる住みよいまちづくり』の実現を目指してまいります。

珠洲市へご寄附いただいたふるさと納税は、多くの事業に活用しています

スズ・シアター・ミュージアム 付帯設備事業

に活用しました

スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」は、平成28年に閉校となった旧西部小学校の体育館を全面的に改修し、珠洲の文化の保存と活用の拠点として、「奥能登国際芸術祭2020+」を機に誕生した施設であり、珠洲市内の家々に眠っていた民具を保存・調査・展示する博物館と、現代美術作家のアート作品を展示する美術館が融合した他には類のない劇場型の歴史民俗博物館です。

新たに建設する付帯施設は、地域の賑わいを創出し、活性化を図るため、スズ・シアター・ミュージアムに来館された方が、外浦に広がる里山や里海の絶景を見渡しながら、珠洲ならではの「食」を味わい、互いに交流することが出来る場所を整備するものであり、その設計にあたっては、2014年に「プリツカー賞」

を受賞されるなど、世界的に際立つ坂茂氏にお引き受けいただきました。



施設の内容としましては、高台からの日本海への眺望を最大限に活かすため、建物のどこからでも絶景を望むことができるよう、海岸線と並行に、横に長い建物となっており、また、厨房などの水回りの部分は壁で囲いますが、それ以外は全面ガラス張りにするこ

珠洲市立つばき保育園整備事業

に活用しました

珠洲市では、保育環境の充実を図るため、上戸、飯田、若山、正院、蛸島の5つの保育所を統合し、いずれの地域からもアクセスしやすく、野々江総合公園や市民図書館が近くにある利便性の高い場所に保育園を新設いたしました。

多く、また、厳しい寒さにも負けず花を咲かせ、1年中、葉が光り輝いている「椿」のように、元気でたくましい子ども達になってほしいという願いを込めて「つばき保育園」といたしました。

「つばき保育園」は、木造平屋建てで、木の香りに包まれており、子どもたちが明るく元気よく、のびのびと活動できる施設となっています。さらには、保育室に可動式の間仕切りを設置していますので、児童数に応じて柔軟に対応することもできます。

楽しむことができるようになっていきます。その他、インフォメーション機能を兼ね備えた事務室や奥能登国際芸術祭関連グッズ等を販売するグッズ販売スペースも設ける予定としています。

今後は、令和5年秋に開催される奥能登国際芸術祭2023の開催に併せたオープンを目指し、鋭意、整備を進めてまいりますと考

特定地域づくり事業

に活用しました

特定地域づくり事業は、地域全体で複数の事業者の仕事を組み合わせることで、年間を通じた雇用を創出するとともに、事業者の人手が必要な時期に所属する職員を派遣することが出来る制度です。

珠洲市では、県内に先駆けて、日置地区の事業者を中心に「珠洲市特定地域づくり事業協同組合」が令和3年度に設立されており、令和4年4月から本格的に

今後は、「つばき保育園」で、子ども達が明るく元気に健やかに成長できるように取り組んでまいりますと考



創作コーナー

遊戯室

保育室

事業がスタートして



令和4年度には、移住者の方を中心

移住された派遣職員の方がこの組合への就職を決めた理由は、「子供の頃から家族旅行で珠洲に来ていて、珠洲が好きだったからこの組合で働くことを決めた。」

安定した収入が得られる働き方が創出され、若い方の移住・定住の促進につながるとともに、地域として

震災復旧

に活用しました

2022年6月19日に発生した震度6弱の地震やその後の余震により、市内では、鳥居や墓石の倒壊に加え、壁や宅内配管、棟瓦の損傷など家屋の被害が多数発生しました。

本市の社会資本や公共施設においても、市道の道路段差や路肩の崩落、河川の護岸のひび割れなどのほか、水田のり面や水路の崩壊、崖崩れなど市内各地で発生し、また、飯田、直、正院の各小学校や緑丘中学校では校舎の壁面、側溝の損傷、漏水等、市営斎場の通路の亀裂、勤労者センター及び家畜診療所では屋根瓦の損傷、珠洲ビーチホテルの海側の大型ガラスの破損や、鉢ヶ崎オートキャンプ場、木ノ浦ビレッジにおける漏水などがありました。このほか、各消防分団車庫の屋根や壁などが損傷し、市庁舎では漏水が発生いたしました。

今後も珠洲市のサポーターの皆様『ふるさと』を思うお心にお応えすべく、努力してまいります。引き続き『ふるさと納税』にご協力賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



珠洲市長 泉谷 満寿祐

も農林水産業を含めた担い手を確保することが期待できることから、今後この組合と協力しながら持続可能な地域づくりに取り組んでまいります。



市道や河川など公共土木施設、水田や畑など農地農業用施設および学校施設については、国の支援をいただき、復旧を進めておりありますが、国の補助対象外となる施設も数多くありましたので、皆様からいただいたご寄附をこれらの施設の復旧事業費に充当するなど、有効に活用させていただきます。

ご寄附いただきました皆様に心から感謝を申し上げます。



市道 56 号線



緑丘中